

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束に対する理解、弊害等を、全スタッフが確実に理解する必要がある	身体拘束がどのような行為なのか、それによりどのような弊害が起こるのか、全スタッフが理解することが出来る	毎月のホーム研修にて、身体拘束に関する勉強会を行い、行為や弊害、禁止事項等を全スタッフが理解する	3ヶ月
2	10	入居者の退院後の介護計画は、状態の変化に応じ、期間設定、内容等を策定する必要がある	入居者の退院後は、現状のアセスメントを必ず行い、介護計画の変更、実践を行っていく	退院後、アセスメントを速い、現状に即した期間設定、内容に介護計画に変更する。介護計画の作成、表価アセスメントについても再度学習していく	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。